



早朝の月

(1月19日)

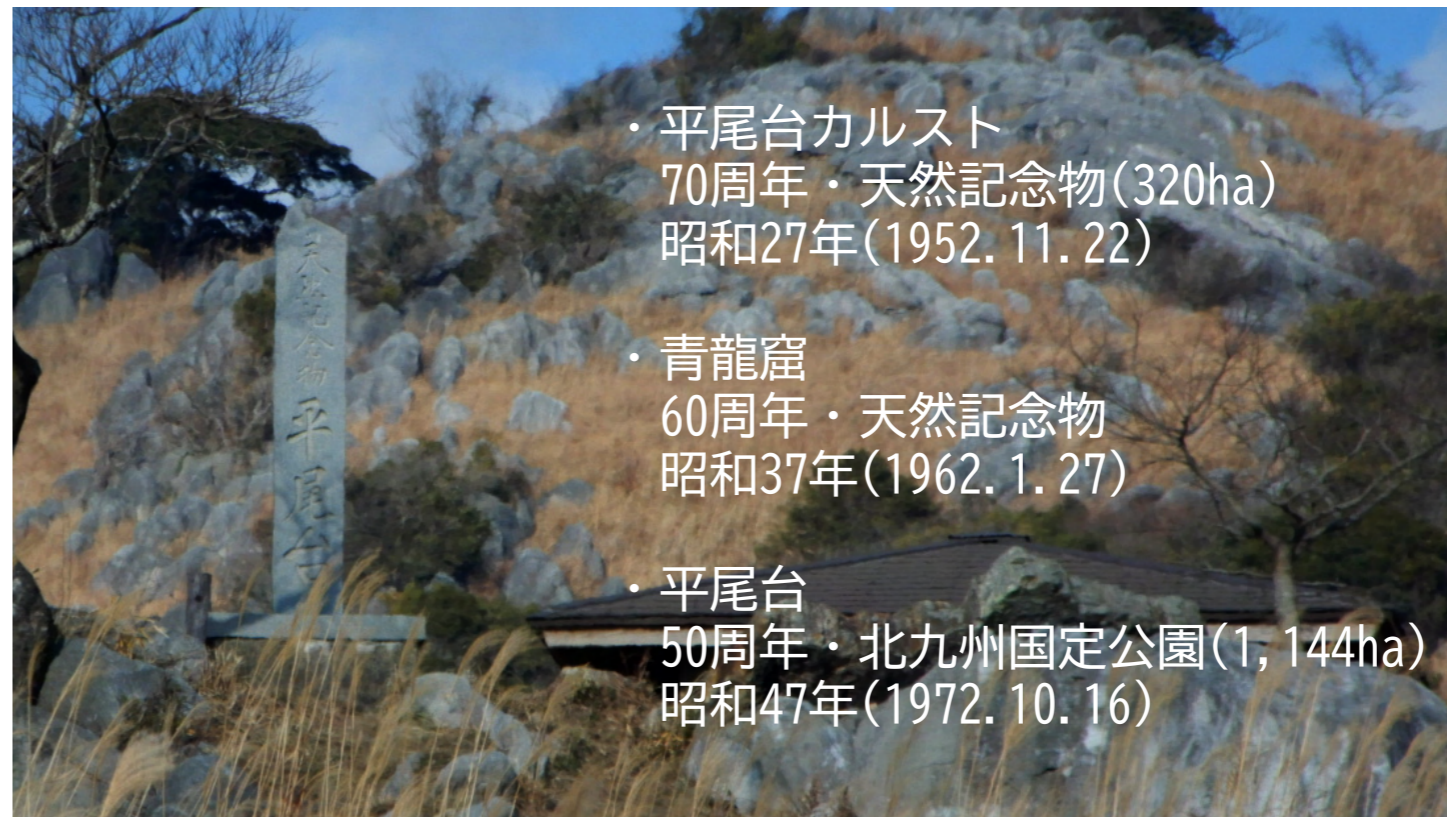
2022年の夜明け



2022年の夜明け。今年も天気も良く朝日が昇って行くのを観賞する事が出来ました。平尾台自然の郷には約1500人の入場者があったそうです。風神台、茶ヶ床園地も大勢の人達がやって来ました。



ナンテン (メギ科)



・平尾台カルスト
70周年・天然記念物(320ha)
昭和27年(1952. 11. 22)

・青龍窟
60周年・天然記念物
昭和37年(1962. 1. 27)

・平尾台
50周年・北九州国定公園(1,144ha)
昭和47年(1972. 10. 16)

平尾台は終戦後(1945)、明治時代から続いた軍用地から解放され、農地開拓、市民の憩いの場として利用されるようになりました。発端は昭和25年(1950)には毎日新聞「日本観光百選」で高原の部第三位獲得し全国に知られる事になりました。昭和26年(1951)鉱業法改正により石灰石が鉱物として追加され、各セメント会社が試掘出願申請を行う事になりました。鉱山開発か文化財保護かと言う論争が起こり、国会での議論や高裁、最高裁で審議の場が持たれました。昭和44年(1969)鉱区禁止区域が指定され、開発、保護、緩衝地区に別れました。約20年を掛けて平尾台は持続可能な開発の為の「共生の場」となりました。平尾台は1世紀近い昔からSDGsの思いで守られたのです。



平尾台



龍ヶ鼻 ↓小岳(536m)

昭和28年に小倉市が作った22頁に渡る平尾台PRパンフレット。中峠から龍ヶ鼻を望む。龍ヶ鼻の前面には現在は無い小岳が写っています。



1月20日

せんがんいわ

千貫岩



キャベツ畑

長期予報では雪が多いとの事でしたが、昨年12月、今年1月中は県道が通行止めになるような降雪はありませんでした。

2月のイベント情報

★真冬の風穴巡りハイキング

開催日：2022年2月27日(日)

時間：13:00~15:30

定員：20名

コロナの蔓延状況によって変更になる場合もあります。

★鍾乳洞コウモリ観察会

開催日：2022年2月11日(金・祝)

時間：13:00~15:30

定員：30名

★散策コース整備ボランティア

開催日：2022年2月12日(土)

時間：9:00~12:00

中止になりました

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※1枚のハガキで4名まで申込可、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。 ※切は開催日の10日前まで必着。



ニオイタチツボ スミレ?

(スミレ科)

1月26日



アオキ (ガリア科)